

# 岩瀬ヶ丘



## 1点の重み ～たかが1点 されど1点～

1・2年生の部活動での活躍は素晴らしいものがあります。男子バドミントン・男子ソフトテニスでは東北大会出場を果し、バドミントン個人で大畑龍平君が個人3位、ソフトテニスではベスト8に入りました。また、先週行われた県中地区バスケットボール大会では、男女で優勝するという快挙を成し遂げました。どの試合も1点や2点差で勝負が決まるという試合ばかりで、接戦をものにしてつかんだ勝利でもありました。須賀川二中の底力を見せてくれたと同時に「1点の重み」を痛感させられました。

運動部の大会では、上位(岩瀬地区から県中・県・東北・全国大会)に進むにつれて、実力が拮抗したチームが勝ち進んできます。そのため1点勝負の試合が多くなり延長戦や点数が入ればそこで決着するというサドンデス試合も出てきます。上位大会になればなるほど「1点の重み」が増してくるのです。

同じようなことが、高校入試にも当てはまります。高校入試では、実力が似た人たちが同じ高校を受験します。その結果、入試の平均点近くにほとんどの生徒が集まっているということになります。ある高校の校長先生の話では、「合格点前後20点に全受験生の7割以上集まり、合格点周辺は、得点が1点違うと、順位が10～20番変わることもある」ということでした。1点で笑う人、1点で泣く人がどうしても出てくるわけです。

では、入試や期末テストにおいてこの「1点の重み」をどう意識して取り組みればいのでしょうか。まずは、「ケアレスミス」(不注意による間違い)を防止することです。ケアレスミスとは「漢字の“トメ、ハネ、ハラヒ”がきちんと書けていなかった」「単純な計算ミスをしてしまった」「英単語のつづりで減点されている」などというものです。

テストが終わるごとに教室のあちこちで聞かれる言葉ですね。

しかし、そのようなケアレスミスを「あっ、分かっていたけど間違えた」などと簡単に思っていないでしょうか。

例えば、数学のテストで「計算ミスのためにいつも10点以上損をしている」という人は、「単にケアレスミスだった」とか「運がわるかった」で片づけられません。「基本的な計算力の不足」(演習量の不足)や「見直しをしていない」ことが原因なのです。

その解決策として、「毎日15分計算トレーニングをする」「途中の式も省略せずにかく」「計算途中での随時チェック、最後の見直しをきっちりやる」というような習慣をつけることが役立ちます。また、国語のテストに限らず、1つ1つを丁寧な字で書くことを意識することも重要です。最後は、「ケアレスミスをなくそう」という気持ちです。

入試に限らず、各種テストでの「1点の重み」を日頃から意識してケアレスミスの防止に努めてほしいと思います。

※23日全校集会校長の話より 抜粋



ケアレスミスチェック NHK「テストの花道」2013年11月11日放送「ケアレスミスをなくす!」より  
キミがケアレスミスにおちいりやすいかどうか簡単なチェックをしてみよう。次のひらがなで書かれた文章をスラスラ、声に出して読んでみよ。

例文

あきもふかまり たべものもおいくしなってきたこのきせつ  
けんこうかんりに じゅうぶんちゅういうして  
べんきょう がんるばぞ!

一部の文字が逆さまになっていることに気づいて、書いてあるとおりに読めたかな?書いてあるとおりに読めたキミは集中力を切らさず、ケアレスミスが少ない人。正しい文章に変換して読んでしまったキミはケアレスミスの要注意人物だぞ。

## 3年生へ・・・今やっていることにベストを尽くそう！

3年生にとっては、いよいよ入試本番です。

学力が伸びるのは、入試直前一ヶ月。集中力こそアップの条件なのです。

直前期にいかにも、「爆発力」を蓄えるか。これは、ひとえに集中力を鍛えることにかかっています。以下ポイントになることを書いておきます。

### 〈受験直前期のポイント〉

#### 1 入試直前の一ヶ月が合否の分かれ目！

直前の集中学習で、必ず学力は伸びる。

あせ つめ こ しょうかふりょう  
焦って詰め込むと消化不良になる。

国語、社会、英語は復習中心に、じっくりと一つ一つ確実に理解する。

数学、理科は、問題量・演習量の多さがカギ。

#### 2 過去の問題の傾向を研究

各私立高校や福島県の過去の問題の出題傾向、難易度、形式に慣れる。

時間配分に注意をばらう。

集中力とスピードを養う。

#### 3 学習リズムの確立

毎日かかさず、バランス良く全科目をやっていく。

不得意教科にこだわらない。

中学校3年間の教科書の総復習、総点検を中心に組み立てる。

特に福島県の入試問題は、教科書の内容からしかでない！教科書が一番の問題集！

#### 4 体調維持は必要最低条件

入試に合わせたリズムを作る。「夜型」から「朝型」へ。

規則正しい生活リズムが集中力を生み出す。

好き嫌い無く何でも食べる。特に朝食は必ずとる。

土曜日、日曜日の過ごし方がポイント。



ポイント  
ここが重要

今日ノートに書きつけた努力はそのまま、行きたい未来を描くことになっている

3年生にとって今が一番つらいときですが、自分の殻（から）に閉じこもって人の言葉に耳を傾けないような状態になっていませんか？

そんな時、クラスの仲間と会話して、励まし合って、おうちの方や先生言葉にも耳を傾けて、自分の心が外に開いていける状態であることを確かめましょう。そういう周りの人とのつながりが、苦しいときの自分を支えてくれる。そう思えるような中校生活を、皆さんは今までしてきたではありませんか。ガンバローゼ！ ガンバローゼ！ 須賀川二中生！

## 入試に向けての勉強方法 3年3組 佐藤 駿

僕が入試に向け勉強するにあたって大切にしていることを2つ挙げます。

1つ目は、理解できているかということです。

僕は自分なりに3段階の理解度を設けています。

1段階目は、答えまでの道筋を頭の中で再現できるか。

2段階目は、書いて再現できるか。3段階目は類題に応用することができるか。ということです。テスト類の復習をするときにこれらがきちんと出来ているかを特に意識しています。

2つ目は、毎日継続して行うということです。

継続することによって理解が深まり、内容が定着します。また、継続することによって集中力が養われ、入試当日に自分自身の力を最大限に発揮できます。

写真は、中学校最後の期末テストに取り組む3年生

